

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

【JPCSA 通信 新年号】

2019年1月4日発行

＜新年のご挨拶＞



一般社団法人日本ファームステイ協会
会長理事 平井伸治

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素は当会の事業運営に格別のご高配、ご厚情を賜り、篤く御礼申し上げます。
昨年は、西日本豪雨や大阪北部地震、北海道胆振東部地震など数々の自然災害が日本各地を襲い、深刻な被害をもたらしました。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。当会といたしましても、被災された地域の皆様に対し、農泊・ファームステイに関わる様々な事業を通して、できる限りの地域支援をして参る所存でございます。

さて、昨年2月に設立しました日本ファームステイ協会も、早いもので間もなく2年目を迎えようとしております。この1年間で、農泊に取り組まれている地域、自治体、企業・団体など多くの皆様に当会の活動にご賛同頂き、ご入会頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年は、協会事業の本格的稼働に向けて取り組んで参りました。昨年12月より、課題解決支援事業の一つとして、会員の皆様に、相対で課題をご相談いただける窓口『農泊ラウンジ』を開設致しました。また人材育成事業として、サービス品質のレベルアップのための『人材育成研修プログラム』をWEBサイトにてご紹介しております。ぜひ、ご活用ください。

本年は、ラグビーワールドカップ日本大会が開催され、全国各地で試合が行われます。これまで以上のインバウンド旅行者とあわせて海外メディアも各地方を訪れることとなり、会員の皆様にとって大きな追い風が吹くものと期待されます。2020年の東京オリンピックを目前に、世界中が日本の地方に注目し、今後益々多くのインバウンド旅行者が津々浦々を訪れ新たな交流が花開くこととなります。

今後一段一段、本会は賛助会員の皆様と共に、農泊に取り組む正会員・自治体会員の皆様の課題を解決し、観光で地方を元気にする活動を展開・充実させていきます。特に、本年は農泊の認知度の更なる向上を図るとともに、インバウンド受入れの活動支援に注力していきます。その第1歩として、今年新たな海外連携プロジェクトをスタートする予定であり、訪日旅行者の受入体制強化に向け、国際的な新サービスを一日でも早く提供できるよう尽力していく所存です。

本年は、「平成」から新たな時代へと扉を開く年です。自然災害や少子高齢化の波を乗り越え、地方が活性化していくために、力強く一步を踏み出す1年とすべく、本年は更に活動を加速化させて参ります。

皆様のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。
本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL：03-3526-2493 / FAX：03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら：<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail：info@jpcsa.org

=====